

No. 1818  
2022年  
11月28日  
月曜日発行

# ひろしま北 民商ニュース

発行所 広島北民主商工会  
広島市安佐南区緑井  
6丁目12番10号  
TEL 879-4060  
FAX 879-4064  
E-mail: kitaminsyou@yahoo.co.jp

自主記帳・自主計算  
自主申告を貫こう!



## 広島市へ 市内民商で懇談と要望 中小零細事業者支援の姿勢問う



北民商の伊村副会長(左から2人目)ら市内民商と共産党市議団が参加

11月22日(火)、広島北民商は市内民商合同で、広島市経済観光局と懇談をおこない、中小零細事業者へのコロナ・物価高騰対策の支援強化を求めました。民商からは北民商の伊村副会長と陶山事務局長を含む7名が参加。日本共産党の中盛市議ら3名の市議団も同席しました。広島市からは経済観光局から経済企画課の戸政課長と同

局の産業振興部などから5名が対応しました。12月議会への補正予算の概要がまとまり、その後も続く物価高騰やインボイス導入での地域経済への影響が懸念される中での懇談となり、始めに戸政課長から「皆様から実情をしっかりと聞き、施策へ反映したい」との話がありました。

### 事業主に労働者 並みの休業保障を

続いて参加者がそれぞれ商売の実態や要望を訴えました。伊村副会長(大工工事)は、「個人事業者がコロナで休まざるを得ないとき、保障が無く、収入も無くなる。国民健康保険のコロナ傷病手当の対象を事業主にも広げるなど、中小零細事

仲間を増やす運動も、明るく元気に!  
会員訪問と商工新聞読者拡大行動へ  
日時 12月4日(日) 朝9時30分  
集合 市民商事務所集合  
各支部からご参加をお願いします。

業者への支援を熱望します」と訴えました。他にも「忘年会時期だが、感染拡大で飲食店には客も無く、補償も無い」、「弁当製造だが、物価や光熱費の高騰で利益が無い」といった苦しい実情を訴えました。また、「経済を回すなら、物価高騰も踏まえた賃上げもできるよう、中小業者への直接支援を強めて欲しい」、「中小・小規模企業振興条例を作っても欲しい。理念条例としても必要」、「中小業者を支援する事で、市が応援しているというメッセージを発信して欲しい」などの要望も出されました。一方で、昨年10月開始の制度融資で担当者が「50億円の融資を実行している」と報告したことに対し、「そういう規模の話をしているのではない。多数の零細事業者へ目が向いていない」と抗議する場面もありました。

見も出されました。駅周辺の大規模開発やG7ばかりでなく、中小零細事業者支援の姿勢を問う懇談となりました。市側も熱心にメモを取り受け止めていましたが、今後の施策への反映を願い懇談を終えました。

【陶山記】

以下、伊村副会長の報告です。

### 小規模事業者の実態、声を上げよう

限られた時間でしたが、コロナの影響等で困っている小規模事業者の実態をそれぞれ話され、本当に切実なんだなと思いました。私も個人事業者の1人として、コロナ感染等で仕事が出来なくなったり、少しでも傷病手当などの施策をして欲しいと訴えさせてもらいました。市側もいろいろな対策をされている様ですが、どれも中堅クラスの業者向けの様な気がしました。やはり声を上げて行かないといけないな、つくづく思いました!

【副会長・安古市支部 伊村俊光記】

## 班長(支部役員)学習会 4会場で10支部47名が参加 「仲間が増えて、みんな笑顔」



支部長らの呼びかけに応え、会場いっぱいの参加者に

の様に訴えるか」といった事も読み返しながら、2年続けて苦戦を強いられている仲間を増やす運動も「明るく楽しい活動にしたい」との思いで組織教宣部役員さんらが進行役を務めました。また、学習要綱に沿って「班・支部活動の手引き」「ようこそ民商へ」のパンフも活用。久しぶりの読み合わせや感想文に苦勞しながらも、皆さん真剣に取り組んでいました。

学習会の後は懇親会へ。支部を越えて楽しい交流となりました。感想などを次号以降にご紹介します。

【陶山記】

広島北民商は毎年、秋の運動期間に「班長(支部役員)学習会」に取り組んでいます。コロナ禍で2年続けてお休みでしたが、今年は3年ぶりに開催することができました。4会場でおこなった学習会には10支部から47名と事務局が参加。今年の全商連総会方針の要点を確認。冊子『仲間が増えて、みんな笑顔』を読み合わせ、改めて「なぜ仲間を増やす事が大切か」どの様に準備し、ど

久しぶりの学習でしたが、みなさん真剣な表情で取り組みました

